

ケンカはなぜ起こる?!アンケート

	低学年	中学年	高学年
ケンカの原因	・会話の食い違い ・遊びのルールの確認不足	→	・遊ぶ場所や時間の予定を決める。
相談相手	・父・母 ・友達・先生 ・上級生	→ ・祖父・祖母	→ ・相談しないで自分で考える ・兄弟 ・SOSダイヤル
解決方法	・想いを話し合い謝る	→ ・手紙を書いてわたす	→ ・気にせず話す ・メール(LINE)・電話
メリットとデメリット	・表情が分かり、話しやすい ・話しやすい	→ ・時間はかかるが言葉で伝えにくい ・人が伝えやすい	→ ・表情が分かりにくい ・気持ちが伝わらないので、解決しにくい。
ストレス発散方法	・家族と他の話題を話す ・ねて、わすれる	→ ・ゲームをする。	→ ・心の中で、悪口を言う ・クッションにパンチする。 ・音楽を聞く

高静小の友達に聞きました。

ケンカを知ろう新聞

高静小学校 5年 桑嶋 千奈

ケンカ後の友達関係や考え方に変化はありましたか？

悪かった言葉を気をつける

ケンカしたことでさらに仲良くなった

おたがいのイヤな部分を直す

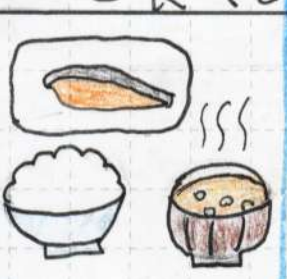
ルールを見直して決めたルールを守っておこなう

おたがいの良い所・悪い所考えられる結果となりました。

ケータイは便利だけど...

ギケン
電話の機能が向上し、アプリの増加・SNS(エックス・エヌ・エス)の普及により、簡単に連絡がとれるようになった。しかし、その一方で、言葉のニュアンスが伝わりずらいことや、表情が読み取れないなどのデメリットもある。そのため、コミュニケーションの手段として、改めて確認しよう。

朝ごはんを食べる



睡眠をとる



運動をする



環境を整える



イライラ



10才～思春期に入る



イライラはコレが原因

変化、今、特に大きく、気になります。大変な時期、思春期(10～18才ごろ)とは、心も体も大きく変化する時期です。不安やイライラ、怒りなどの感情が、自分や周りの人に対して、大きな影響を与えます。この時期には、自分や周りの人について、よく考えてみる必要があります。

私たちの味方 インタビュー

(相談相手)

Q ケンカの相談時、気をつけている事、解決するアドバイスはどう伝えていますか？
A ①クラス担任や土門先生と相談する相手の気持ちに寄りそう。②少ない情報だけで、はんだんせず、情報を集める。③子ども同士がなっとくできる話し合いをする。

Q ②保健室の先生
A 15～16年生の様々な子ども達がいるので、解決方法を理解するまで伝えたり、ケンカを解決してしまっただけで相手とスムーズに話し合えるようアドバイスしている。

Q ③私の親
A 子どもの話をじっくりと聞く。一緒に悩んだり、前向きに伝える。気分をかえ、外出する。



土門先生

私のこれから心がけ

・同じケンカをしないように、しっかりと話し合いをする。
・集団で話している時は、一人一人の意見・話をきく。
・友達が不安な時に、相談に乗ったり、自分の意見を分かりやすく伝える。
・私はケンカをするとおたがいのイヤな表情や気持ちになるので、ケンカをしたくないと感じていました。ですが、この新聞を通してケンカは人と人の関わり方を学ぶ機会だと分かりました。ケンカは顔を赤くして話し合えるという、いい経験だと思っています。

24時間SOSダイヤル